

平成 24 年度 第 2 回経済学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 24 年 6 月 11 日(月) 13：00～15：00
II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者：林委員長，中嶋委員，望月委員，渡邊委員（スカイプ），碓井委員(スカイプ)，
児島委員
(事務局) 井端事務局長，森下主幹，松本職員
IV. 議事概要

1. 検討内容 経済学教員の教育力について

これまで検討してきた「経済学教員の教育力」について、「経済学教員に期待される学識」のまとめを行った。

まず、作成担当委員が事前に提出した案を紹介した。この案は、前回の委員会で明示されたキーワードを含めながら作成したという説明であった。次に、その案を受けてコメントを提出した委員の案が紹介された。その後、委員会で各種意見交換を行った。

他分野でまとめられた案を参考にしながら、経済学の学識に関して議論した。着目したポイントは、経済学固有の視点をどのように学識へ反映するかであった。例えば、①では、経済学者としての基本的立場を明示して、専門家としての姿勢および使命感を打ち出した。②では、研究専門領域だけでなく広い視点が求められる点、③では、経済学研究が社会に貢献できるようにする点を明示した。④では、教育能力として経済学の有用性を学生に理解させる点を重視し、⑤では、ICT 活用に「データ分析やシミュレーション等の実証型の教育」という点を加えた。

また、研究面・教育面のそれぞれで、多くの教員が理解・納得できるような形でまとめるように配慮した。その結果、以下の 5 項目にまとまった。

【1】経済学教員に期待される学識

- ① グローバル化した経済において、人々と社会の経済的な豊かさに貢献する使命感をもつ専門家であること。
- ② 経済学の理論、歴史、政策などの視点から、複眼的・統合的に探究できること。
- ③ 研究業績を現実の経済社会の改善・改革のために貢献できるように応用できること。
- ④ 経済学の行動指針としての有用性を学生に理解させ、興味を持って主体的に取り組ませることができること。
- ⑤ ICT などの教育技法を駆使して、データ分析やシミュレーション等の実証型の教育ができること。

2. 今後の検討スケジュール

次回からは、以下の点について検討することにした。

【2】教育改善モデル実現に求められる教育力

最後に事務局より、関連する添付資料について説明があった。

次回の開催日程

日時：平成 24 年 7 月 9 日(月) 13：00～15：00 を予定
場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上